

事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成19年7月3日(火)

研究課題	廃棄プラスチックの熱分解とリサイクル技術の研究開発	
研究期間	平成17年度～18年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	4.6
	2 目標の達成度	4.0
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	4.2
	4 今後の発展性	4.2
	5 総合評点	4.2
<p>本研究では、加熱した食用植物油を用いてプラスチックを融解できるという独創的な知見に基づき、繊維強化プラスチックを融解し、融解物からガラス繊維と油分を分離する装置を開発した。廃棄プラスチックの中でも、特にリサイクルが困難と言われていた繊維強化プラスチックのリサイクル技術を、植物油の利用により可能としたことは高く評価できる。装置自体は、実用化と普及のしやすさを考慮して、軽量・簡便に設計されている。今後、排気成分や引火などの安全面を強化し、県内企業への技術移転による早期実用化に結び付けていただきたい。</p>		